

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限(2002年7月9日設定)
運用方針	欧州主要国(ユーロ参加国)の公社債への分散投資を行い、信託財産の長期的な成長をめざします。
主要運用対象	欧州主要国(ユーロ参加国)の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。
分配方針	毎年4回決算(原則として2、5、8、11月の各15日。ただし、15日が休業日の場合は翌営業日とします。)を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書(全体版)

三菱UFJ 欧州債券 オープン(3ヵ月決算型)

愛称：四季の恵み(欧州債券)

第80期(決算日：2022年8月15日)

第81期(決算日：2022年11月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 欧州債券オープン(3ヵ月決算型)」は、去る11月15日に第81期の決算を行いましたので、法令に基づいて第80期～第81期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 (受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			F T S E E M U 国 債 イ ン デ ッ ク ス		債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 期 金 騰 落	中 率	(円ベース)			
	円	円	%		%	%	%	百万円
72期(2020年8月17日)	12,545	40	11.2	244.55	11.4	97.2	—	1,656
73期(2020年11月16日)	12,488	35	△ 0.2	244.75	0.1	99.1	—	1,611
74期(2021年2月15日)	12,686	35	1.9	250.00	2.1	98.5	—	1,593
75期(2021年5月17日)	12,703	40	0.4	252.47	1.0	98.2	—	1,561
76期(2021年8月16日)	12,703	40	0.3	254.99	1.0	97.5	—	1,503
77期(2021年11月15日)	12,584	35	△ 0.7	252.93	△ 0.8	98.1	—	1,449
78期(2022年2月15日)	11,897	35	△ 5.2	241.07	△ 4.7	98.7	—	1,312
79期(2022年5月16日)	11,598	30	△ 2.3	234.82	△ 2.6	96.2	—	1,274
80期(2022年8月15日)	11,600	30	0.3	237.38	1.1	97.4	—	1,248
81期(2022年11月15日)	11,306	30	△ 2.3	232.59	△ 2.0	96.4	—	1,190

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) F T S E E M U 国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、EMU（経済通貨同盟）参加国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		F T S E イ ン デ (円ベース)	E M U 国 債 ス テ ッ ク ス 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第80期	(期 首) 2022年5月16日	円 11,598	% —	234.82	% —	% 96.2	% —
	5月末	11,703	0.9	237.54	1.2	96.3	—
	6月末	11,720	1.1	239.54	2.0	95.7	—
	7月末	11,783	1.6	238.80	1.7	95.9	—
	(期 末) 2022年8月15日	11,630	0.3	237.38	1.1	97.4	—
第81期	(期 首) 2022年8月15日	11,600	—	237.38	—	97.4	—
	8月末	11,337	△2.3	230.87	△2.7	97.6	—
	9月末	11,048	△4.8	224.42	△5.5	97.9	—
	10月末	11,618	0.2	236.57	△0.3	97.8	—
	(期 末) 2022年11月15日	11,336	△2.3	232.59	△2.0	96.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第80期～第81期：2022年5月17日～2022年11月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第80期首	11,598円
第81期末	11,306円
既払分配金	60円
騰落率	-2.0%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-0.9%）を1.1%下回りました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

ユーロが対円で上昇したことや、債券利子収益を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

欧州長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第80期～第81期：2022年5月17日～2022年11月15日

投資環境について

▶ 債券市況

欧州長期金利は上昇しました。

欧州長期金利は、複数の欧州中央銀行（ECB）高官が2022年9月末までのマイナス金利政策脱却を支持する発言を行い、金融政策正常化の前倒し観測が高まったことなどを背景に2022年6月中旬にかけて上昇しました。その後、ロシアからの天然ガス供給に対する懸念などを背景に、景気後退懸念が高まったことから、欧州長期金利は7月末にかけて低下しました。その後の欧州長期金利は、ECBが9月理事会において今後複数回の理事会で利上げを継続する方針を示し、金融政策正常化の前倒し観測が高まった

ことなどを背景に上昇基調で推移し、当作成期を通じてみると欧州長期金利は上昇しました。

▶ 為替市況

ユーロは対円で上昇しました。

ユーロは、ロシアからの天然ガス供給に対する懸念などから景気後退懸念が高まり、対円で下落する局面もありましたが、日銀が緩和的な金融政策を維持する中、ECBを含む複数の中央銀行で利上げを含む金融政策の正常化が実施されたことなどから、当作成期を通じてみるとユーロは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

欧州主要国（ユーロ参加国）の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。当作成期を通じて債券の組入比率は高位で推移させました。当作成期を通じてファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、ベンチマーク比中立付近でコントロールしました。

当作成期を通じてフランスをベンチマーク比アンダーウェイトで維持し、オランダやアイルランドを同中立からオーバーウェイトでコントロールした一方、イタリアやベルギーを同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。また、2022年5月にフィンランドを同オーバーウェイトから非保有に変更しました。

第80期～第81期：2022/5/17～2022/11/15

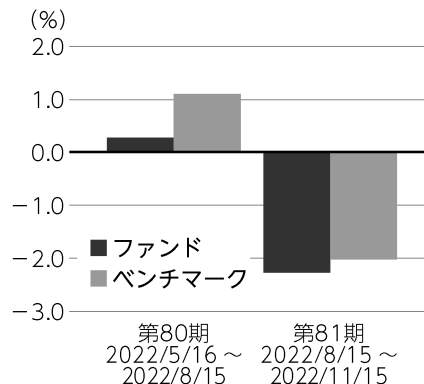
▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

ファンドの騰落率は、ベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（円ベース）の騰落率（-0.9%）を1.1%下回りました。

マイナス要因

信託報酬など運用上の費用を計上したことや、2022年9月末にかけて欧州金利が上昇する中、デュレーションを中立の範囲でやや長めとしていたことなどがマイナスに影響しました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第80期 2022年5月17日～2022年8月15日	第81期 2022年8月16日～2022年11月15日
当期分配金（対基準価額比率）	30 (0.258%)	30 (0.265%)
当期の収益	14	—
当期の収益以外	15	30
翌期繰越分配対象額	3,419	3,389

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

金利戦略においては、長期金利への影響が大きい景気その他の諸条件を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。また、欧州各国の財政状況や政治動向、政策対応な

どを重視した国・銘柄選別に注力します。債券の組入比率は高位を維持し、国債中心の組み入れを維持する方針です。

2022年5月17日～2022年11月15日

1万口当たりの費用明細

項目	第80期～第81期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	70	0.607	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(35)	(0.303)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(32)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.021	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.018)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	72	0.628	

作成期中の平均基準価額は、11,498円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

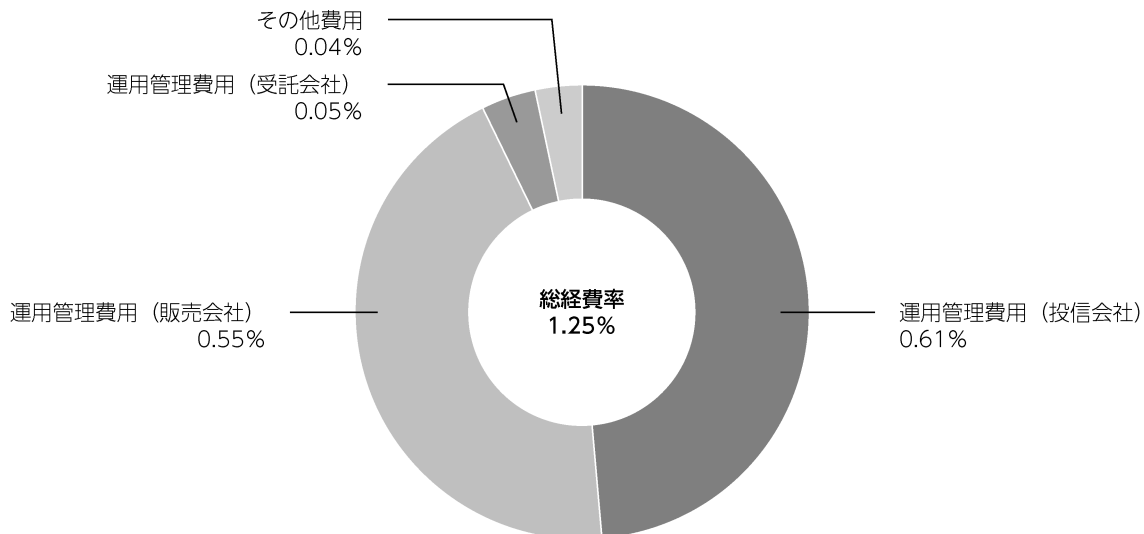
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.25%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年5月17日～2022年11月15日)

公社債

			第80期～第81期		
			買付額	売付額	
外国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ	
		ドイツ	国債証券	596	792
		イタリア	国債証券	436	919
		オランダ	国債証券	179	—
		スペイン	国債証券	432	155
		ベルギー	国債証券	404	160
		オーストリア	国債証券	338	—
		フィンランド	国債証券	—	426
		アイルランド	国債証券	240	537

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2022年5月17日～2022年11月15日)

利害関係人との取引状況

区分	第80期～第81期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 68	百万円 48	% 70.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2022年11月15日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第81期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	1,720	1,437	208,095	17.5	—	12.8	—	4.7
イタリア	1,580	1,477	213,843	18.0	—	4.0	11.5	2.4
フランス	2,050	1,716	248,483	20.9	—	10.2	10.6	—
オランダ	690	609	88,245	7.4	—	6.3	1.1	—
スペイン	1,700	1,605	232,383	19.5	—	12.2	—	7.4
ベルギー	550	470	68,102	5.7	—	5.7	—	—
オーストリア	400	340	49,286	4.1	—	4.1	—	—
アイルランド	300	272	39,515	3.3	—	—	3.3	—
合 計	8,990	7,928	1,147,955	96.4	—	55.3	26.6	14.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第81期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ユーロ							
ドイツ	国債証券	0 BUND 520815	—	370	199	28,820	2052/8/15
		0.2 SCHATS 240614	0.2	400	388	56,206	2024/6/14
		0.25 BUND 290215	0.25	950	850	123,068	2029/2/15
イタリア	国債証券	0.5 ITALY GOVT 260201	0.5	400	367	53,212	2026/2/1
		0.95 ITALY GOVT 230315	0.95	200	199	28,868	2023/3/15
		1.45 ITALY GOVT 250515	1.45	600	578	83,735	2025/5/15
		2.45 ITALY GOVT 330901	2.45	250	211	30,599	2033/9/1
		3.85 ITALY GOVT 490901	3.85	130	120	17,427	2049/9/1
フランス	国債証券	0 O. A. T 270225	—	800	724	104,950	2027/2/25
		0 O. A. T 320525	—	200	156	22,693	2032/5/25
		0.75 O. A. T 520525	0.75	200	114	16,605	2052/5/25
		1.25 O. A. T 360525	1.25	550	448	64,900	2036/5/25
		1.75 O. A. T 241125	1.75	150	148	21,502	2024/11/25
		2 O. A. T 480525	2.0	150	123	17,831	2048/5/25
オランダ	国債証券	0 NETH GOVT 310715	—	400	328	47,554	2031/7/15
		0.75 NETH GOVT 270715	0.75	100	93	13,552	2027/7/15
		0.75 NETH GOVT 280715	0.75	100	92	13,336	2028/7/15
		2.75 NETH GOVT 470115	2.75	90	95	13,802	2047/1/15
スペイン	国債証券	1.45 SPAIN GOVT 290430	1.45	550	506	73,353	2029/4/30
		2.55 SPAIN GOVT 321031	2.55	250	236	34,234	2032/10/31
		2.7 SPAIN GOVT 481031	2.7	300	257	37,214	2048/10/31
		2.75 SPAIN GOVT 241031	2.75	600	604	87,581	2024/10/31
ベルギー	国債証券	0.8 BEL GOVT 280622	0.8	350	321	46,541	2028/6/22
		1.6 BEL GOVT 470622	1.6	200	148	21,560	2047/6/22
オーストリア	国債証券	0.9 AUSTRIA GOVT 320220	0.9	400	340	49,286	2032/2/20
アイルランド	国債証券	0.2 IRISH GOVT 270515	0.2	300	272	39,515	2027/5/15
合 計						1,147,955	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年11月15日現在)

項目	第81期末	
	評価額	比率
公社債	千円 1,147,955	% 93.8
コール・ローン等、その他	76,475	6.2
投資信託財産総額	1,224,430	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産（1,185,782千円）の投資信託財産総額（1,224,430千円）に対する比率は96.8%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1ユーロ=144.78円		
--------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第80期末	第81期末
	2022年8月15日現在	2022年11月15日現在
	円	円
(A) 資産	1,266,526,643	1,224,430,293
コール・ローン等	44,120,616	26,694,011
公社債(評価額)	1,216,122,711	1,147,955,432
未収入金	—	44,700,753
未収利息	5,585,366	4,063,406
前払費用	356,259	335,174
その他未収収益	341,691	681,517
(B) 負債	17,553,402	33,725,274
未払金	—	26,857,559
未払収益分配金	3,229,964	3,159,402
未払解約金	10,470,375	—
未払信託報酬	3,839,474	3,695,222
未払利息	7	24
その他未払費用	13,582	13,067
(C) 純資産総額(A-B)	1,248,973,241	1,190,705,019
元本	1,076,654,872	1,053,134,122
次期繰越損益金	172,318,369	137,570,897
(D) 受益権総口数	1,076,654,872口	1,053,134,122口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,600円	11,306円

○損益の状況

項 目	第80期	第81期
	2022年5月17日～ 2022年8月15日	2022年8月16日～ 2022年11月15日
	円	円
(A) 配当等収益	3,458,626	3,672,383
受取利息	3,186,717	3,403,308
その他収益金	301,054	284,065
支払利息	△ 29,145	△ 14,990
(B) 有価証券売買損益	4,004,771	△ 27,653,791
売買益	18,554,400	75,724,335
売買損	△ 14,549,629	△ 103,378,126
(C) 信託報酬等	△ 3,985,542	△ 3,810,231
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,477,855	△ 27,791,639
(E) 前期繰越損益金	△ 68,299,077	△ 66,480,961
(F) 追加信託差損益金	240,369,555	235,002,899
(配当等相当額)	(294,657,705)	(288,312,880)
(売買損益相当額)	(△ 54,288,150)	(△ 53,309,981)
(G) 計(D+E+F)	175,548,333	140,730,299
(H) 収益分配金	△ 3,229,964	△ 3,159,402
次期繰越損益金(G+H)	172,318,369	137,570,897
追加信託差損益金	240,369,555	235,002,899
(配当等相当額)	(294,657,705)	(288,312,880)
(売買損益相当額)	(△ 54,288,150)	(△ 53,309,981)
分配準備積立金	73,483,881	68,628,914
繰越損益金	△ 141,535,067	△ 166,060,916

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 1,098,835,858円
 作成期中追加設定元本額 2,078,262円
 作成期中一部解約元本額 47,779,998円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.1306円です。

②分配金の計算過程

項 目	2022年5月17日～ 2022年8月15日	2022年8月16日～ 2022年11月15日
費用控除後の配当等収益額	1,611,726円	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	294,657,705円	288,312,880円
分配準備積立金額	75,102,119円	71,788,316円
当ファンドの分配対象収益額	371,371,550円	360,101,196円
1万口当たり収益分配対象額	3,449円	3,419円
1万口当たり分配金額	30円	30円
収益分配金金額	3,229,964円	3,159,402円

○分配金のお知らせ

	第80期	第81期
1万円当たり分配金（税込み）	30円	30円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。